

令和5年度 遠野市立達曽部小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立達曽部小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 学校全体としては、時間外在校時間は多くないが、校務分掌や時期によって時間外在校時間の多い職員が固定化している。
- ◆ 毎週水曜日のノー残業デーの取組は、十分に定着していない。
- ◆ P T Aの活動内容の見直しを図ったことにより、教職員の負担は減少傾向にある。

目指す姿

- ◆ 教職員一人一人が主体的に働き方改革に取り組むとともに、組織として改革を推進する学校。
- ◆ 管理職が積極的に職員とのコミュニケーションを図り、個々の意見を取り入れながら業務の改善に取り組む学校。
- ◆ 地域や保護者との協働活動を推進する学校。

働き方改革の重点取組

取組① 業務内容、実施方法等の見直し

- ◆ 感染症に係る対応が変わったことで全ての業務や行事の内容、方法等を以前の通りに戻すのではなく、目的を明確にしながらか教育活動を精選し、引き続きスクラップ&ビルドに取り組んでいく。
- ◆ 会議等の効果的な進め方を検討し、業務の効率化を図る。

取組② 地域や保護者と連携した協働活動の推進

- ◆ 学校が本来行うべき業務とそうではない業務について検討し、学校運営協議会に協力を依頼しながら、本校の実態に合わせた協働活動を進めていく。
- ◆ 昨年度から進めている P T A活動の見直しを継続し、保護者との協働活動をさらに推進していく。

取組③ 時間外在校時間の削減

- ◆ 毎週水曜日の一斉定時退庁を原則としつつ、難しい場合は各自で業務をセルフマネジメントして定時退庁できる日を設定するなど、働き方改革に対する職員一人一人の主体的な意識の向上を図る。
- ◆ 時間外在校時間の多い職員の状況を把握し、本人とともに改善策を協議しながら改善に努める。

具体的成果目標

関係する重点取組

目標① 時間外在校等時間の月 45 時間以上の人数を減らす

①、③

目標② 地域や保護者との協働活動についての実績をつくる

②

目標③ 教職員全員が月に 4 回以上定時退庁をする

①、③